

これまでの合併特例債の使い道と今後の予定をお知らせします。

笠間市では、合併特例債を笠間市総合計画に基づいた事業で、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現したりするため、特に必要な事業に活用しています。

具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校などの耐震化や児童館の整備など市民の生活に身近な事業に活用しています。平成18年度から平成25年度(予定)までの8年間で約105億円を活用しています。

これまでの合併特例債の主な使い道や今後の予定についてお知らせします。

合併特例債とは

合併特例債とは、合併した市町村が、新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づいて、特に必要な事業の財源として借り入れることができる地方債(借入金)のことをいいます。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10か年度(笠間市では平成27年度まで)に限られます。

なお、活用する事業費のおよそ95%(充当)まで借り入れることができます。借



岩間駅駅舎・自由通路完成

り入れた地方債の将来支拂う元利償還金の70%が地方交付税によって措置されま

これまでの使い道

新しい笠間市が平成18年3月19日に誕生し、平成18年度から、旧市町を結ぶ道路や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業がスタートしました。

平成18年度から平成23年度まで

主な道路整備事業

- 笠間小原線、大淵飯田線、友部池野辺線、友部1級12号線(平町〜大古山)、友部2級10号線(住吉〜湯崎)、岩間八郷線、上町大沢線、南友部平町線、来栖本戸線、友部1級5号線(小原)

都市整備事業

岩間駅周辺整備

学校施設等整備事業

改築

岩間中学校、笠間学校給食センター

耐震補強

友部中学校、笠間小学校、岩間第三小体育館、笠間中学校、宍戸小学校

福祉施設整備事業

児童館

その他

○まちづくり振興基金積立

平成18年度から平成23年度までは、これらの事業などで合計68億5,510万円を活用しました。

平成24年度

笠間学校給食センターの施設整備や笠間市民体育館の大規模改修が完了しました。道路整備では、来栖本戸線等の整備を進めました。

学校施設等整備事業

- 笠間学校給食センター 7億7,910万円

主な道路整備事業

- 来栖本戸線 6,740万円

○笠間小原線(桂町工区)

- 6,350万円

○上町大沢線

- 4,610万円

都市整備事業

○岩間駅周辺整備

- 4億1,790万円

○岩間駅東大通線延伸部

- 8,270万円

その他

- 笠間市民体育館大規模改修 6,510万円

○まちづくり振興基金積立

平成24年度はこれらの事業などで合計21億8,190万円を活用しました。

平成25年度の予定

道路整備では、友部1級5号線等の整備を予定しています。また、都市整備では、岩間駅東大通線延伸部を整備します。

学校施設等整備事業

- 笠間学校給食センター(外構整備) 2,980万円

主な道路整備事業

- 友部1級5号線(小原) 1億590万円

○来栖本戸線

- 9,410万円

○笠間小原線(桂町工区)

- 7,240万円

都市整備事業

○岩間駅東大通線延伸部

- 1億3,060万円

○笠間稲荷門前通り

- 6,870万円

○笠間地区市街地浸水対策

- 5,950万円

その他

- まちづくり振興基金積立

